理研会報

発行
印教研 理科研究部
事務局
成田市立成田小学校内

各部会の夏休み研修報告 1986

一部会

八月六日、上志津中学校を会場として、次のような実技研修会を実施致しました。参加された二十九名の先生方は、夏の暑さに負けず熱心にとりくみました。

一、小学校部会

(一)、プラスチック器具の扱い方とプラスチック細工

・透明アクリル板を使用しての水そうづくり。

・フイルムケースの細工
（滴びん気体発生器づくり）

(二)、はんだ付けの仕方と教具の製作

・はんだ付けの練習

・配線板づくり

二、中学校部会

(一)簡易水の電気分解セット製作

・普通のプラスチック容器の中に鉛ピパイプにステンレス線を、ら線にまいて電気分解装置を製作。

(二)ガラスびん切断器の製作

・耐火レンガをくりぬいて、ニクロム線20Wの受け台とし、まわりを木枠で固定し、びんの大きさにあわせられるように、びんの支持台をスライドできるようにする。

三、講師

小竹小　久保田孝之　先生
佐倉小　齋藤　浩　先生
上志津中　因泥　幹夫　先生
上志津中　石原由紀夫　先生

二部会

一、小学校理科指導者研修会

七月三十日、三十一日と成田市教育委員会と共催で、成田市立遠山小学校を会場として開きました。出席者も二百名にのぼり、先生方も熱心に学習されており、特に教具の作成には苦心されておりました。なお、会場校の配慮により冷房がされ、外の暑さとは違い、さわやかな環境で学習できたと思います。研修された内容は、学年単位で、

一年　じしゃくであそぼう
二年　うごくおもちゃをつくろう
三年　空気でっぽう
四年　ものの重さと天びん
五年　水よう液とこさ
六年　ほのおを調べる

でした。

講師になられた成田市内の先生方、本当にごくろうさまでした。この研修が各学校で子どもたちの指導に生かされ、楽しく理科学習がされることを期待しております。

二、理科野外研修会

八月十一日、三部会と共催で、市原市の養老渓谷で実施いたしました。現地では、約十数kmの行程を散策し、地層の観察、植物の観察、バードウォッチングと目、耳、足をつかっての大変気ぜわしい思いであったと思います。しかし、講師の先生方からは、貴重で、しかも楽しい話をお聞きし参考になりました。バスの都合などもありますが、もう少し時間をかけて観察できると、さらによかったと思いました。

三部会

養老渓谷駅の裏をまわり、梅ヶ瀬渓谷から大福山へむかう山道は、尾根筋の林道にもかかわらず、すばらしいしま模様の地層がみられた。千葉県の代表的な地層であり、たい積した様子やかつて川の流れでけずられ、その後、別の土がたい積した様子がはっきりとみてとれた。砂層もあり、貝化石も含まれており、できることならば、多くの生徒に現地観察してほしい地層である。参加された先生方は、おもいおもいに写真をとったり、記録をとったりしていた。今年の三部会の野外研修は、千葉県野鳥の会の指導者をむかえて、地層の観察のかたわら、バードウォッチングをおこなった。なかなかきっかけがつかめにくい分野であるだけに、参加者の意欲も高く、各自双眼鏡を用意していた。鳥を観察するには、八月だと時期的に確認しにくい時であるが、ムクドリ、ウグイス、ホオジロといった代表的な鳥がすぐ出現してくれた。この日、全部で十二種類ほどであったが、ほとんどさえずりが多かったため、初心者は、その姿がみられず残念がっていた。探鳥には、五月頃が最も良い時期だと思う。しかしながら、大福山の境内での説明は、ベテランの味があり、教師側をしておもわずうならせるものがあった。沢下りで夏草をかきわけての下山も楽しく有意義な研修であった。

五部会

五部会の理科実技研修は、八月十九日、南小学校においてOHPのTP作りをおこなった。

当日は、講師として「ウチダ洋行」、「キャビン工業」より各一名、専門の方を招き、指導を受けた。初めに、OHPの構造や各種TPの作り方を聞き、実際にとりかかった。午後三時ごろまで熱心にとりくみ、最後に全員の発表をし、講評を受けた。

作品のいくつかを図に示すので参考にしてほしい。なお、野外研修として「地層」を予定していたが、都合により延期となった。

① 星座
星座を拡大コピーし、線香で穴をあけ、シートとはりつける。

② 月のみちかけ
図1の斜線部分を切りぬき、図2は残す。図2のくりぬいた部分を二枚のTPにはさみ、切る。中心に印をつけておく。図1と3を中心に線香で穴をあけ、ハトメでとめる。できたものを紙枠にとりつけ完成。(図4)

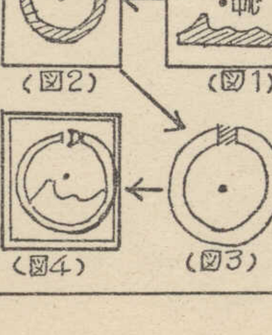

図3の斜線部分に黄色のカラーシートをはりつける。

四部会については、原稿未着のため、掲載できませんでした。

県理科作品展 入賞者決まる!!

第36回千葉県児童・生徒科学論文展、第30回千葉県児童・生徒科学工夫作品展が、去る10月25日〜27日までの間、千葉県総合教育センターにおいておこなわれました。本研究部においても、あわせて32点の作品をすいせん致しましたが、次の9点が「優秀」「優良」として入賞いたしました。おめでとうございます。

「科学工夫」の部

◎発明協会長 奨励賞
「ぱたぱた鳥」　富里南小　西村 真吾
◎優良賞
「ゆかいな友達」　臼井小　加藤真理子
「コーヒーカップ」　成田小　石原 理奈

「印旛沼の研究」　栄中　佐々田香織 他18名
◎優良賞
「あさがおのつるのかんさつ」　成田小　井上 祐介
「まきひげの働き」　久住小　蓮見 明子
「植物葉の水のすい上げ」　みそら小　松澤千佳子
「翼の形状による飛行距離及び安定性を調べる研究」　佐倉中　鈴木 克明

「論文」の部

◎優秀賞
「身近なざっ草の研究」　成田小　井上 隆博